

2019年8月14日

各位

会社名 株式会社ランシステム
 代表者役職氏名 代表取締役社長 日 高 大 輔
 (コード番号:3326)

問い合わせ先 常務取締役 面 高 英 雄
 TEL 03-6907-8111 (代)

特別損失の計上及び通期業績予想値と実績値との差異

並びに剰余金の配当の決議に関するお知らせ

当社は、2019年6月期決算におきまして、下記の通り特別損失を計上するとともに、2018年8月14日に公表した2019年6月期の通期連結業績予想値と実績値に差異が生じ、個別業績についても前期実績との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2019年6月30日を基準日とする剰余金の配当について、2019年9月25日開催予定の第31期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2019年6月期通期累計期間において、当社が保有する固定資産等について、今後の事業環境等を踏まえ、当該固定資産に係る回収可能性等を検討した結果、186百万円の特別損失を計上しております。これは主に、当社の自遊空間直営店舗の一部において減損損失130百万円、店舗閉鎖損失27百万円、固定資産除却損22百万円を計上したものであります。

本件におきましては、本日発表の2019年6月期通期決算短信〔日本基準〕(連結)に反映されております。

2. 連結業績予想値と実績値との差異、個別業績の前期実績との差異について

2018年8月14日に公表した2019年6月期の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じました。また、個別業績につきまして前期実績との間に差異が生じました。

(1). 2019年6月期通期(2018年7月1日~2019年6月30日)連結業績予想値と実績値の差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,700	百万円 200	百万円 170	百万円 50	円 銭 25.77
今回実績(B)	8,326	237	247	75	38.66
増減額(B-A)	△374	37	77	25	—
増減率(%)	△4.3	18.6	45.4	50.1	—
(ご参考) 前期実績 (2018年6月期)	8,501	97	93	76	39.54

(2). 2019年6月期通期(2018年7月1日～2019年6月30日)個別業績と前期実績との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2018年6月期)	百万円 7,616	百万円 80	百万円 93	百万円 90	円 銭 46.50
今回実績(B)	7,310	137	154	10	5.49
増減額(B-A)	△305	56	60	△79	—
増減率(%)	△4.0	70.4	65.0	△88.2	—

(3). 差異の理由

連結業績の予想値と実績値の差異につきましては、売上高は、主に直営店舗事業における店舗の統廃合を実施したこと、外販事業における受注が想定に及ばなかったこと等により、前回発表予想を下回る結果となりました。

営業利益と経常利益につきましては、子会社であるランセカンドの業績が好調であったことや、ランシステム直営店舗のセルフ化による運営コストの削減等によって予想を上回る差異が生じました。

個別業績の前期実績との差異につきましては、店舗の統廃合を実施した結果、売上高が減少し、特別損失の計上等によって純利益は前年を下回りました。全社的な投資コストの見直しや直営店舗の運営コストの最適化を進めた結果、営業利益、経常利益は前年を大幅に上回る結果となりました。

3. 剰余金の配当

(1). 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2018年8月14日公表)	前期実績 (2018年6月期)
基準日	2019年6月30日	同左	2018年6月30日
1株当たり配当金	10.00円	未定	0.00円
配当金総額	19,404千円	—	0.00円
効力発生日	2019年9月26日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(2). 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な施策と認識し、将来の事業展開を勘案した財務体質の強化及び内部留保の確保に努めつつ、安定した配当を実施していくことを基本方針としております。

2019年6月期の期末配当につきましては、上記の2019年6月期通期連結業績や経営環境等を総合的に勘案しました結果、1株当たり10.00円の配当とさせて頂くことにいたしました。

なお、本件は2019年9月25日開催予定の第31期定時株主総会に付議する予定であります。

以上